

東臼杵南部地域の普及活動（普及活動月報）

令和7年3月 東臼杵農林振興局
(東臼杵南部農業改良普及センター)

目次

- I 管内農業・農村の出来事や新たな動き (P 2)
 - 1 【椎葉村】しいばモーモー母ちゃん宮日農業技術賞受賞記念祝賀会の開催
 - 2 【全域】3月期子牛セリ市の開催

- II 主な普及指導活動等の取組
 - 1 プロジェクト（総合、専門）に関する普及活動 (P 3～4)
 - [総合：担い手確保・育成、雇用労力の確保、中山間地域づくり 等]
 - [専門：茶(中山間)、肉用牛繁殖(若手)、冬春ミニトマト、ほうれんそう(椎葉)、へべす、スイートピー 等]
 - 1 【日向市】事業承継に係る専門家相談会を実施
 - 2 【美郷町】加工グループ検討会の開催
 - 3 【全域】日向地域農業再生協議会担い手対策部会の開催
 - 4 【美郷町】ミニトマト定例会において各種情報を提供
 - 5 【日向市・門川町】へべす産地戦略ビジョン、7年度取組内容を協議
 - 6 【椎葉村】ほうれんそう実績検討の開催

 - 2 プロジェクト（総合、専門）以外の普及活動(一般活動) (P 5～6)
 - 1 【全域】日向・東臼杵農山村女性会議実績報告会を実施
 - 2 【門川町】門川町SAP会議総会の開催
 - 3 【全域】普通期水稻新品種候補系統の試食会を実施
 - 4 【美郷町】牧草品種選定の調査を実施
 - 5 【日向市・門川町】きゅうり巡回において農作業安全を啓発
 - 6 【日向市・門川町・諸塚村・美郷町】スイートピー全戸巡回を実施
 - 7 【美郷町】ゆず剪定講習会において剪定実演
 - 8 【美郷町】農作業機械を活用したなしの黒星病対策を紹介
 - 9 【椎葉村】土壌分析に基づく施肥設計支援を実施



東臼杵南部農業改良普及センター
ホームページ

I 管内農業・農村の出来事や新たな動き

1 【椎葉村】しいばモーモー母ちゃん宮日農業技術賞受賞記念祝賀会の開催

15日、椎葉村の家畜管理センターで、しいばモーモー母ちゃんの令和6年度宮崎日日新聞農業技術賞受賞の記念祝賀会が開催されました。

しいばモーモー母ちゃんは、椎葉で牛を飼育している女性達の組織です。子牛品評会開催時のふるまいや、小学生への食育活動、牛の頭絡（引き綱）づくり、講習会などの活動を通して村内の和牛繁殖農家を活気づけると共に団結力を高めていることが評価されました。

祝賀会には村内の多くの畜産農家が出席し、久しぶりの農家の集まりに話も弾み、活気にあふれた会となりました。



【宮日農業技術賞受賞記念祝賀会】

2 【全域】3月期子牛セリ市の開催

20～21日、東臼杵市場で3月期子牛セリ市が開催され、雌225頭、去勢276頭、合計501頭が取引されました。

平均価格は雌642,473円、去勢729,320円、合計690,317円で取引され、前回セリと比べて雌で154,893円高、去勢で152,949円高、合計で156,144円高と、大幅な値上げとなりました。

また、セリ前研修会では、普及センターから土壌診断書の見方や活用方法、子牛の衛生管理等について説明を行いました。また、振興局からは2年ぶりの韓国での口蹄疫発生を受けて防疫の徹底等について啓発を行いました。



【3月期子牛セリ市】

Ⅱ 主な普及指導活動等の取組

1 プロジェクト（総合、専門）に関する普及活動

[総合：担い手確保・育成、雇用労力の確保、中山間地域づくり 等]

[専門：茶(中山間)、肉用牛繁殖(若手)、冬春ミトマ、ほうれんそう(椎葉)、へべす、スイートピー 等]

1 【日向市】事業承継に係る専門家相談会を実施

14日、日向市の法人1経営体に対して、法人2名、関係者5名の出席で、県農業振興公社から専門家派遣による事業承継相談会を実施しました。

相談会では、(株)ケミストリーの村上一幸氏から、事業承継を契機とした今後の法人形態についての説明を受けました。今回で3回目となる個別相談で、農地所有適格法人の合併や統合等についての具体的な助言がありました。

今後も円滑な事業承継に向けて、関係団体等と連携して支援していきます。

2 【美郷町】加工グループ検討会の開催

11日、美郷町南郷の食品加工場で、レシピ承継についての検討会が実施され、グループメンバー3名と普及センター1名が出席しました。

検討会では、整備したレシピの最終確認や、今後整備するレシピの商品について検討しました。

今後も、地域の重要な無形資源を承継するために、レシピの整備を進めていきます。



【加工グループ
レシピ商品の作成】

3 【全域】日向地域農業再生協議会担い手対策部会の開催

21日、JAひむかホールで、関係者21名が出席し、担い手対策部会を実施しました。

会では、宮崎県よろず支援拠点より講師を招き、経営支援について、過去の支援事例を基にしたケーススタディによる研修を行いました。

今後も、管内の生産者に対し、適切な経営支援ができるよう、関係機関と連携し、継続的に支援していきます。



【担い手対策部会経営支援研修】

4 【美郷町】ミトマト定例会において各種情報を提供

6日、生産者10名、関係機関6名が参加し、美郷町ミトマト3月定例会が開催されました。

普及センターからは、近年増加しているバイオスティミュラント資材について、改めてその法的位置付けや国によるガイドライン策定の動きを説明しました。また、営振協展示ほで試験している新品種の間実績を報告し、生産者からは、現状の結果では現行品種に取って代わる品種とはならないが、作終了時に再度検討したいといった意見がありました。展示ほ成績は、引き続き調査し最終実績を報告する予定です。

5 【日向市・門川町】へべす産地戦略ビジョン、7年度取組内容を協議

18日、JA本店にて生産者11名、普及センターを含む関係者11名が参加し、JA平兵衛酢部会の産地戦略ビジョン班会議が開催されました。

はじめに事務局（JA）から部会総会での産地ビジョン承認に向けてのスケジュール等について説明が行われました。その後は3班に分かれて、前回（2月13日）の班会で出された意見等を踏まえ、令和7年度取組の詳細（時期、方法等）について協議を行いました。今後は3月末までに産地ビジョンの取組内容を単年度のロードマップとして整理し、4月の部会役員会に諮ります。



【へべす産地ビジョン班会議】

6 【椎葉村】ほうれんそう実績検討の開催

26日、JA椎葉支店において、生産者8名及び関係者5名が参加し、ほうれんそう実績検討会が開催されました。

令和6年産のほうれんそう実績は、生産者10戸、栽培面積253a、出荷量37t（前年比68%）、販売額35千円（前年比76%）、単価939円/kg（前年比113%）でした。

高温による全国的な品不足で近年にない高単価で推移しましたが、当産地でも記録的な猛暑の影響で収量が大幅に低下し、販売金額が落ち込みました。

JAからは出荷販売に関する実績説明や各種報告が行われ、駐在からは発芽率向上に向けた高温対策について講習を行いました。講習では、1月に実施した産地ビジョン検討会の振り返りも行い、令和7年度も引き続き検討を継続していくことや、出されたアイデアを実行に移していくことを確認しました。

また、役員改選で専門部長が新たに任命され、村からは産地支援として農業アドバイザーを新たに設置するとの報告がありました。新たな体制の中、引き続き関係機関と連携しながら、指導に取り組んでいきます。



【発芽率向上に向けた
高温対策を講習】

2 プロジェクト（総合、専門）以外の普及活動（一般活動）

1 【全域】日向・東臼杵農山村女性会議実績報告会を実施

3日、普及センターで、日向・東臼杵農山村女性会議実績報告会を実施し、構成員12名、関係者5名が出席しました。

実績報告会では、令和6年度の活動について実施者から活動報告が行われ、その後、来年度の研修について意見交換が行われました。

活発な質疑応答や意見交換が行われ、来年度につながる有意義な時間になりました。

今後も、女性農業者の資質向上に繋がるよう支援を継続していきます。



【農山村女性会議実績報告会】

2 【門川町】門川町SAP会議総会の開催

14日、門川町で、門川町SAP会議総会が開催され、SAP会員3名、関係者3名が出席しました。

総会では、会員から令和6年度の活動実績及び収支決算、監査報告についての報告が行われました。また来年度は、今年度、好評だった小学校での農作業体験支援を計画するなど、会員が少ない中でも、前向きな意見交換が行われました。

今後も、SAP会員の活動が地域や会員にとってより良い活動になるよう支援を続けていきます。



【門川町SAP総会】

3 【全域】普通期水稻新品種候補系統の試食会を実施

4日、普及センターにて作物部会員16名が出席して、普通期水稻新品種候補系統「南海189号」の試食会を行いました。

「南海189号」は収量・品質・食味が良好な有望系統ですが、日向地域では試験事例が無いため、先月の先進地事例調査で分けていただいたサンプルを用いて試食を行いました。試食の結果、「南海189号」は「ヒノヒカリ」と同程度の高評価を得られました。

来年度は管内の4カ所で展示ほを設置予定で、品種化後の早期普及のため、巡回の中で生育状況についても確認を行い、随時関係機関団体と情報共有を図っていきます。



【作物技術委員会】

4 【美郷町】牧草品種選定の調査を実施

26日、美郷町西郷に設置しているイタリアンライグラス奨励品種選定試験展示ほで1番草の収量調査を実施しました。

この試験では、3品種を供試し11月に播種を行いました。今回の調査の結果、3品種のうち「うし想い」の収量が最も多く、「いなずまGT」と標準品種である「タチュウカ」は同等の収量となりました。

今後は引き続き、2番草の生育状況や収量性を調査し、地域に適した品種の選定を行っていきます。



【イタリアンライグラス展示ほ】

5 【日向市・門川町】きゅうり巡回において農作業安全を啓発

11日、生産者11名、関係機関3名が参加し、きゅうり巡回及び現地検討会が開催されました。

普及センターからは、農作業安全の啓発を行い、これからの時期に使用する乗用トラクターや農業機械の安全使用を呼びかけました。

農業における事故死亡者数は建設業を上回っています。慣れた作業であっても、安全に農作業が行われるように、今後も啓発を続けていきます。

6 【日向市・門川町・諸塚村・美郷町】スイートピー全戸巡回を実施

11日と13日、18日に関係者3名で、スイートピーの全戸巡回を行いました。

2月から3月にかけての日射量が増え、やや草勢が低下し、ステム長が短めになっている品種が一部でみられました。

次年度の課題として、日射量を意識したかん水管理の提案が必要です。関係者と協力して4月以降は採種量確保を支援していきます。

7 【美郷町】ゆず剪定講習会において剪定実演

5日、美郷町南郷のゆず園地にて、生産者7名、関係者3名が参加して、ゆずの剪定講習会を実施しました。

はじめに普及センターから3～5月の栽培管理として、主に病虫害防除、新梢管理について説明しました。次に樹高を低くする際の枝の切り方や、優先的に切る枝など剪定のポイントを解説しながら剪定の実演を行いました。改めて基本的な内容を確認することで、生産者の剪定方法に対する理解が深まりました。



【ゆず剪定講習】

8 【美郷町】農作業機械を活用したなしの黒星病対策を紹介

21日、美郷町役場にて、生産者5名、関係者2名が参加し、美郷町さいごう梨生産組合の実績検討会が実施されました。

はじめに令和6年産の生育状況や問題点等を各生産者から話していただきました。普及センターからは、なし栽培における高温対策、農作業機械を活用した黒星病対策（落葉処理）の紹介を行いました。次に美郷町役場から昨年問題になった鳥獣害の対策について事業活用等の説明が行われました。近年は鳥獣害、特にサル被害が増加しており、その対策に関する支援が必要と感じられました。



【なし園でのサル被害】

9 【椎葉村】土壌分析に基づく施肥設計支援を実施

17日、24日、25日、ミニトマトの生産者3戸のは場延べ11か所について、土壌分析に基づく施肥設計を行い、相談があった生産者に説明を行いました。

依頼のあった生産者の方は毎年土壌分析に取り組まれており、徐々に塩基バランスも改善してきています。毎年実施することでは場の状況は理解されており、今年も分析結果を基に施肥設計を検討してもらうことができました。

26日には、ミニトマトとほうれんそうの生産者から3戸延べ11か所の依頼がありました。各品目の実績検討会や毎月発行する農林だよりでも、土壌分析に基づく土づくりや施肥設計を推進しており、これからも実践する農家が増えることを期待しています。



【施肥設計を提案】